

2013年度 3年生の授業実施内容

<3月29日の授業のようす―第三十五回―最終回>

◇一時間目

・教科書 p98 「モチモチの木」

小見出し3、4の部分を、一人ずつ交代で音読しました。

分からない漢字は子供同士で教え合うようにしました。

先生の範読に合わせて読んだり、聞いたりしつつ質問に答えました。

豆太の気持ちを語り手が代弁している部分はどこですか？

p104「じさまあつ」と「じさま」は音読の際、どのように違いをつけて読めば良いと思いますか？またそれはなぜですか？

豆太がじさまにとびついたときの気持ちは？

歯を食いしばって、とはどういう様子ですか

表戸をふっとばす、とは豆太のどんな様子を表していますか

ねまきのまんま。はだしで。――の後に続く言葉はなんだと思いますか。

豆太が泣きながら走った理由は？

不思議なことが2つありました。それはどの部分ですか？

豆太はどうして足でドンドン医者様を蹴ったのでしょうか？

同じものを見た医者様と豆太の、捉え方の違いはなんですか？

→音読は先週よりずっとスムーズになりました。漢字の読みも殆ど読めている子供もいました。

→読解については、それぞれ良い読みをしています。

また、独自の捉え方をしている子供もいて、なるほど、と思わせるものがありました。

他の子供の意見を聞くことがそれぞれの子供にとって大事です。

◇二時間目

「とらとおじいさん」人形劇

学年末パーティー

◇三時間目

・教科書 p98 「モチモチの木」

小見出し4、5の部分を、一人ずつ交代で音読しました。

先生の範読に合わせて読んだり、聞いたりしつつ質問に答えました。

豆太の働きは豆太の年齢を考えるとどうですか

じさまのいう「やらなきやならねえこと」とはなんですか

なぜ、豆太葉「やらなきやならねえこと」ができたのか。じさまは、豆太をどんな子供だと

思っていますか。

- ・漢字テスト

「モチモチの木」より出題：先生が読みあげた言葉をノートに漢字で書きました。（テスト形式）その後教科書を見ながら、自分で答え合わせをしました。同じテストを続けてもう一度やり、自分で答え合わせをしました。→同じテスト形式でもプリント式ではなくて、読み上げ式のほうが緊張感があって、子供が学びやすいようです。続けて2回やることがポイントでした。

- ・うつしまるくん「メソポタミア」

10分でどれだけ書けるか、それぞれがんばりました。書き順も注意しましょう。写しとった内容がなんだったか答えてもらいました。

3月22日3年生の授業の様子

<今週の授業のようす―第三十四回>

◇一時間目

- ・この二週間に起きたことで、他のお友だちに聞いてほしい事はなんですか？

- ・教科書 p96 「カンジーはかせの音訓遊び歌」より

一人ずつ、はかせの考えた歌を読みました。

分からない漢字は子供同士で教え合うようにしました。

次に、先生が読みあげた言葉をノートに漢字で書きました。（テスト形式）

教科書を見ながら、自分で答え合わせをしました。

→家で読む練習をしてきた成果がかなり出ていました。

漢字の効果的な学習方法のひとつとして今後も家庭学習の一つにとりいれると良いと思います。

以前お送りした三年生の読み方・書き方プリントを使っても良いです。

また、書きながら口で唱えて読み方も同時に定着させる、ということが重要です。

◇三時間目

・教科書 p98 「モチモチの木」

小見出し 1、2 を、一人ずつ交代で音読しました。

→語り口が独特なので、先生が範読をしつつ、それを繰り返すようにしました。

この物語には「登場人物」以外に「語り手」がいることを説明しました。

語り手が豆太のことをどう思いながら語っているか、考えました。

宿題で書いてきた「じさまらしさ」「豆太らしさ」を示す部分に線を引き、

2人がどんな人物か、意見を出し合いました。

→子供によって微妙に気付く点が異なるので、お互いに意見を出し合うことに意味があります。

かなり深い読みをしている子供もいました。

→引き続き宿題とします。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

教科書 p98 「モチモチの木」の漢字の読み方を声に出して覚えましょう。

書き方については次回テストします。

10字程度。

2) 音読練習

教科書 p98 「モチモチの木」の小見出し 3 から 5 (最後) まで。

3) 教科書 p98 「モチモチの木」

小見出し 3 から 5 (最後) まで、見出しごとに分けて、

豆太、じさま、医者様 らしさがわかる部分に線を引き、
どんな人物か、特徴をノートに箇条書きにしましょう。
→来週それぞれ意見を出し合ってもらいます。

3月8日の授業の様子

<今週の授業のようす―第三十三回>

◇一時間目

・教科書 p96 「カンジーはかせの音訓遊び歌」

宿題として覚えてきた漢字の読みを確認しました

一人ずつ、はかせの考えた歌を読みました。分からない漢字は子供同士で教え合うようにしました。

「遠く＝とおく」のように特に注意すべき読み仮名について指導しました。

→子供によってはっきりとばらつきがでました。家で何度も音読・漢字学習の際に読みを学習してきた子供はほぼ完全に漢字の読み方を覚えていましたが、一度だけ、もしくは書く練習の際に読み方を一緒に学習しなかった子供はなかなか見に着かないという様子でした。→漢字の学習方法として、書きながら口で唱えて読み方も同時に定着させる、

今回の単元のように文章で読んで覚える（すでに配布している3年生の漢字チェックの例文を何度も学習する）ようにしましょう。

→再度宿題とします。

二時間目

本読み

◇三時間目

・教科書 p98 「モチモチの木」

今学年、授業で扱う最後の単元に入りました。

先生の範読を聞きながら、どんな登場人物が出てきたか、それらはどんな人々だったか、について意見を言い合いました。また、お友だちの意見で自分は賛成ではない、と思う場合はそれについても発言してもらいました。

登場人物を追いながら、どんな話だったか、概要をつかみました。

→引き続き宿題とします。

・うつしまるくん 11 「10 分間チェック 3」

字を美しく、はやく書くことがだんだんできるようになってきました。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

教科書 p96－97 カンジーはかせの音訓遊び歌の漢字の

読み方を声に出して覚えましょう。

書き方については次回テストします。

2 週間あくので、さらにもう 10 字を練習してください。

書き順、とめはねはらい、読み方、全てを同時に学習してください（それが一番効率的です）。

2) 音読練習

教科書 p96－97 カンジーはかせの音訓遊び歌

3) 教科書 p98 「モチモチの木」

豆太、じさま、医者様 はそれぞれどんな人物でしたか？

ノートに簡条書きにしましょう。

豆太らしさ、じさまらしさ、医者様らしさ が一番よく表されていると思う部分を選び、教科書に線を引きましょう。ノートには何ページの何行目、とメモを入れてください。

(物語の捉え方は人それぞれですから、子供の思った通りのことを答えてさせてください。)

「じさま」の会話(言ったこと)や行動(したこと)のなかから、すてきだな、良いな、と思うところはどこですか、書きだしてください。なぜそう思いましたか?理由を説明してください。

<3月1日の授業のようす―第三十二回>

◇一時間目

・教科書 p83 「しりょうから分かったことを発表しよう」より

先週までの宿題で書いてきたものをそれぞれ発表。

発表の後、「わかったこと」について、その理由が何であるかについて意見を出し合いました。

さらに自分だったらアンケートにどう回答するか、またその理由を答えました。

・うつしまるくん「10分間チェック3」

字を美しく、はやく書くことがだんだんできるようになってきました。

・漢字カルタ

今日は子供たちの気がいまいちのっていないようでした。

休み明けということもあるかなと思います。

◇三時間目

・教科書 p88～95 「本で調べて、ほうこくしよう」より

各自がまとめてきた「ほうこく書」の発表。

発表に基づくクイズに答えてもらいました。

→それぞれ面白いテーマを選んで調べられました。

→自分で書いた内容を忘れて、発表の際に漢字が読めなかったり、
質問に答えられない子供がいました。今回は休みを挟んでいるので
しかたがない面もありますが、書きっぱなしではなく
書いたものを読みなおして自分で文章をなおしたり、
わかりやすくするように工夫をしてみましよう

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

教科書 p96－97 カンジーはかせの音訓遊び歌の漢字

トメハネハライなど正確に書くことを心がけましよう。

2) 音読練習

教科書 p96－97 カンジーはかせの音訓遊び歌

同じ漢字でも読み方が異なることはすでに学びましたが、ここでもう一度復習です。

このページに出てくる漢字を全て読めるようにしてきてください。

3) 教科書 p98 「モチモチの木」

来週から入りますのでお家で読んできてください。音読できる子供は音読練習をしましよ
う。

<2月15日の授業のようす―第三十一回>

◇一時間目

・「いぬぼうかるた」

・教科書 p 74 「かるた」より

一人ずつ、段落ごと（6段落）に音読しました。p80より 「だんらく」「小見出し」の意味について説明しました。

ノートに表を作り、段落ごとに「小見出し」「大事だと思う一文」をそれぞれ各自で書きだしました。

→他の子供と相談せず、自分だけで考えるようにしました。

二時間目

劇「てぶくろ」の練習

◇三時間目

・3年生の漢字カルタとり 50枚

・教科書 p 74 「かるた」より 表作りのつづき

段落ごとに音読した後、「だんらく」「小見出し」「大事だと思う一文」を各自で書きだしました。

最後に書きだした小見出しを全員発表しました

→各段落ごとに小見出し（タイトル）をつけることで、ないようのまとまりをとらえる練習となりました。

人によってタイトルの付け方が異なるところも個性が出て面白かったです。

・教科書 p83 「しりょうから分かったことを発表しよう」

先生が範読しました。

現地校でグラフの見方については学んだということなので、それについては説明しませんでした。

→二つのグラフから分かること、気がついたことをノートに書きだしましょう（宿題）

次回の授業で発表してもらいます。

・教科書 p88～95 「本で調べて、ほうこくしよう」

先生が範読しました。

それぞれの子供が休み中に調べてくる「テーマ」を決めました。

→本（英語でもかまいません）を使ったり、人に聞いたりして「ほうこく書」にまとめましょう。

まとめかたは教科書 p92-95 をさんこうにしてください。

次回の授業で発表してもらいます。

<宿題は下記の通りです：2週間あるので少し多めに出します。>

1) 漢字学習

三年生の漢字を書く練習をしてください。1週間に10文字ずつ。

2) 音読練習

教科書 p130-132 「百人一首」を5・7・5・7・7のリズムで節をつけて読む練習をしましょう。

お家に百人一首がある子供は、教科書に出ている18句の読み札ととり札を出して、百人一首で遊んでみましょう。

3) 教科書 p83 「しりょうから分かったことを発表しよう」

二つのグラフから分かること、気がついたことをノートにできるだけたくさん書きだしましょう。

4) 教科書 p88～95 「本で調べて、ほうこくしよう」

自分できめたテーマについて調べてほうこく文を作ってください。絵や写真、グラフなどを入れてもかまいません。

<今週の授業のようす―第三十回>

◇一時間目

・3年生の漢字カルタとり 30枚 一回目

・先週の宿題「かるたについてきょうみを持ったことを調べたこと」の発表

友達の発表を聞いて何を面白いとおもったか。なぜ面白いと思ったか。

→それぞれ異なる視点で調べられていて、どれもとても面白い発表でした。

→ひとりずつ自分の意見を他人がわかるように述べることができました。

→「発表」するためには、人が聞いておもしろく、かつ分かりやすいものにしなければならない、と意識して報告の文を書くことがポイントです。

・教科書 p 74 「かるた」より

全員で、一人ずつ、段落ごとに音読しました。

→家で音読の練習を何回かしてきた子供は先週よりずっとスムーズに読めていました。

→音読練習は漢字の読み、日本語の表現方法を学ぶためにも必要な学習です。少しの練習でも実際に成果が表れていますので、お家での学習でも必ずとりいれてください。子供の「自分で読める」という自信にもつながります。

◇三時間目

・先週の宿題「教科書のかるたの単元中からこそあど言葉を見つけ、こそあど言葉が示す言葉に線を引く」の答え合わせをしました。

・3年生の漢字カルタ 30枚 二回目

・教科書 p86「二まいの写真を見て分かったこと」より

ちがいや同じところ、その他気がついたことをそれぞれノートに書きだしました。

書きだしたものをひとりずつ発表し

友達の発見について意見を言い合いました。

→人によって視点が違うので、様々な意見が出ました。

→人の意見を聞いて、自分とちがう考えの場合は、自分はどう思うか、反対意見を述べられた子供もいました。

→ちがいに気づくだけでなく、その理由まで考えられた子供もいました。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

三年生の漢字を書く練習をしてください。1週間に10文字ずつ。

来週も漢字カルタをします。

2) 音読練習

教科書 p130-132「百人一首」を5・7・5・7・7のリズムで節をつけて読む練習をしましょう。

お家に百人一首がある子供は、教科書に出ている18句の読み札ととり札を出して、百人首で遊んでみましょう。

3) 教科書 p87「漢字の広場」

絵を見て、文を作りましょう。三文。

主語、じゅつ語、しゅうしょく語を使ってくわしく説明してください。

自分が作った文をもう一度読み直し、まちがいがあれば自分でなおしましょう。

<その他、二時間目についてなど>

・来週もひきつづき、「かるた」の単元です。

「百人一首」「犬棒カルタ」を持参してください。

・貝おおい クラフトですが、貝殻を集めてくださっているそうですね。

塗るためのペイントは「アクリルペイント」です。

極細筆（ネイルアートに使うような）が必要になります。

また、和風の絵柄の図案があると良いと思います。

花鳥風月、海、富士山、おひなさま、そういったものです。

時期は、3学期中でも良いですし来学年にしても良いかな、と思います。

新3年生が教科書で学習する頃に、3，4年生合同で行っても

良いかもしれません。筆ではなくて、ペンなどを使えば新1年生も

一緒に行っても楽しいクラフトと思います。

・お習字の時間はありますか？

来週学習する百人一首ですが、

好きな句を色色紙や画用紙に飾る（教科書p134）というクラフトを

行うのはいかがでしょうか。

えびす塾三年生保護者のみなさま

<今週の授業のようす―第二十九回>

◇一時間目

・ うつしまるくん下7までで、それぞれ終わって無いページに書きこみました。

・ 先週の宿題「主語・じゅつ語・しゅうしょく語」のふくしゅう

・ 教科書 p 7 4 「かるた」より

全員で、一人ずつ、段落ごとに音読しました

持ってきてもらった「いぬぼうかるた」と「百人一首」が実際にどんなものか学習しました。

「いぬぼうかるた」に書かれていることわざの意味について説明しました。→ひきつづき、宿題としてしらべものをしてきてください

「坊主めぐり」ではない「百人一首」の本来の遊びかたについて説明しました。

→短歌の内容がわかりにくいので少し高度だったようです。

◇三時間目

・ 教科書 p 7 4 「かるた」より

音読のつづき

「こそあど言葉」について学びました。

教科書の「かるた」の中から「こそあど言葉」をさがし出し、

「こそあど言葉」がさす内容がどれか考えました。→ひきつづき宿題とします。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

三年生の漢字を書く練習をしてください。1週間に10文字ずつ。

2) 音読練習

教科書 p74 「かるた」をお家で声に出して読んで練習しましょう。

新しい漢字がふえているため、子供たちは大変ですが

1回だけでなく、何回か読む練習をしましょう。

3) 「いぬぼうかるた」に出てくることわざの中から好きなことわざを

3つ選び、意味をしらべましょう。しらべかたは、辞典を使ってもよいですし、日本の家族に意味をきいてもかまいません。

下記は、地方によってちがう「いろはかるた」の内容です。どのかるたから選んでもかまいません。ちなみに今日遊んだかるたは「江戸」のかるたです。

http://iso-labo.com/labo/iroha.html#iroha_karuta

<http://kuwane.tomangan.org/magazine/texts/inubou.html>

その他、教科書 p81 「かるたについて、もっとくわしく知りたいこと」

を見つけた子どもは、それについて調べたり日本の家族にきいたりしてわかったことを書いてきてください。

→これらを他の子供たちや先生に教えてください。（発表）

4) 教科書「かるた」 p77～79 のなかで

「こそあど」言葉がでてきます。こそあど言葉を線で囲い、

さらに、そのこそあど言葉がさしている部分は文中のどこか、線をひきましょう。

ヒント：3つでてきます。

例：p75 後ろから2行目

「その」中で、＝「その」がこそあど言葉

さしている部分＝すぐ前の文：「いくつかしゅるいがあります」

<その他>

・来週もひきつづき、「かるた」の単元です。

「百人一首」「犬棒カルタ」を持参してください。

・教科書 p120 「とらとおじいさん」を朗読劇として二時間目にできそうかどうかがありましたので、二時間目に当てたいと思います。ただし、なかなか内容も高度なので、授業中にもいちど音読練習や意味を考える時間を設けようと思います。

<今週の授業のようす―第二十八回>

◇一時間目

・うっしまるくん下4「くわしくする言葉」より

主語・述語・修飾語 の使いかたについて復習しました。

「やってみよう」の演習で挿絵を元に、修飾語をなるべくたくさん使って文章を作りました。修飾語を使えば使うほど、文章の内容がくわしくなり相手に伝わり安くなることを学びました。

自分で作った文章のどれが主語・述語・修飾語か、印をつけました。

他の友達が作った文章と自分の文章を比べました。

→宿題で続けましょう。

二時間目 学芸会「てぶくろ」の配役決め

◇三時間目

・教科書 p74 「かるた」より

先生の範読をよく聞いて、どんなかるたが出てきたか書きだしてもらいました。

書きだしたかるたの中で、やったことのあるもの、見たことのないものについてそれぞれ言ってもらいました。

先生が持ってきた「ご当地かるた」（郷土かるたの一種といえます）と

「貝おおい」を紹介しました。

「貝おおい」を実際に遊びました。

→いずれ二時間目の実習に、実際に貝おおいを作るクラフトを行っても良いと思います。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

三年生の漢字を書く練習をしてください。1週間に10文字ずつ。

来週は三年生の漢字カルタをします。

2) 音読練習

教科書 p74 「かるた」をお家で声に出して読んで練習しましょう。

3) p81 かるたについて、もっとくわしく知りたいこと（日本の家族に質問したり自分で調べたりしてみたいこと）は何ですか。テーマを決めてください。

→来週の宿題として実際にしらべてきてもらいます。

4) 教科書 p23 の挿し絵の中から絵を一つ選び、それについて主語述語修飾語のある文章をつくっててください。

例：おじいさんが日曜日に小刀で小さな船のもけいを作りました。

(子供たちは最初、「てにをは」などを間違えることがありますが、自分で読みかえして、意味がおかしい、ということに自分で気付かせるようにしてください。)

正しい(日本語として意味の通る)

文章がかけたら、主語述語修飾語はどれか線などをひいて印をつけてください。

<その他>

・来週もひきつづき、「かるた」の単元です。

教科書に出てきたかるたがお家にある場合は来週持参してください。

・3学期に二時間目に教科書 p120「とらとおじいさん」を朗読劇として

行う時間的余裕はありますか?(お面づくり、朗読劇の練習、朗読劇の上演)

もしなければ、お面は家で作ってきて、朗読は授業中とします。

<今週の授業のようす―第二十七回>

◇一時間目

・宿題で創作した詩の発表

作者が詠んだ後、先生が詠み、皆でそれぞれの詩を味わいました。

「好きな部分はどこですか?なぜそう思いますか?」という質問をしました。

子供たちと先生が各自の意見を述べ合いました。

→最初は、詩は好きだけどどこが良いかと問われても「わからない」と言っていた子供も、他の子供たちの意見を聞くうちに、きちんと説明できました。

→それぞれとても良い詩ができあがりました。

・教科書 p70 「詩を楽しもう」より

三篇の詩を音読しました。

「雪」の詩の中で好きな部分はどこですか？なぜそう思いますか？」

→授業の前半に、詩の感想をどんな風に述べたら良いか学んだので、

ここではすんなりとそれぞれの子供の感想がのべられました。

また、人により着眼点に違いがあり、それが良い学習効果を生んでいました。

・教科書 p60 「似た言葉、反対の言葉」

急ぐとあわてるの違い

うれしいと楽しいの違い

など、どのように意味が異なるか、みんなで考えるため、

上記の言葉を使った例文を各自作成しました。

2時間目

七草がゆ作り

◇三時間目

・教科書 p60 「似た言葉、反対の言葉」

1時間目に作った例文をそれぞれ発表しました。言葉を入れ替えてみて、意味が通じるか、別の意味に変わったか、違和感を感じるか、意見を出し合いました。

・宿題「言葉を分類しよう」

で分類した言葉を発表しました。人によって分類の仕方が違うことがわかりました。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

三年生の漢字を書く練習をしてください。1週間に10文字ずつ。

来週は三年生の漢字カルタをします。

2) 音読

教科書 p74 「かるた」をお家で声に出して読んでみましょう。

3) 次の言葉の反対の言葉はなんですか

高い 長い 広い 深い 明るい うれしい

寝る 拾う 行く 開ける のびる

父 兄 親 男 黒

以上です。

<1月4日の授業のようす―第二十六回：三学期初回>

◇一時間目

・「冬休みのできごとで心に残ったこと、皆に話したいこと」について話してもらいました。

・お節料理の中味はなんですか？お雑煮の具はなんですか？

・「年こしそば」を食べる理由はなんですか？（教科書 p68 冬の楽しみより）

・教科書 p70 「詩を楽しもう」

三篇の詩を先生が範読後、言葉や表現の意味について考え、意味をとらえながらひとりづつ音読しました。

「はしるしるしる」「さがるるる」「くすぐるる」などなぜ語尾を繰り返しているのか。

なぜ詩の最後が「きれるのに！」で終わっているのか

表現のくりかえしや、対比があることを学びました。

◇三時間目

・教科書 p70 「詩を楽しもう」より実際に詩を創作しました。

テーマを決め、そのテーマについて思いつく表現や様子を 10 個書きだしました。

書きだした言葉をもとに、詩を考えました。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

三年生の漢字を書く練習をしてください。1 週間に 10 文字ずつ。

2 週間あきますので頑張りましょう。

2) 作詩

詩を完成させ、さし絵をつけてみましょう。

3) 年賀状投かん

まだ間に合います。日本の家族・友達にあてた年賀状を、投かんしてください。

4) 教科書 p70 「詩を楽しもう」より

「じゃがいも」の詩で、「ひそひそ」や「ころころ」はどんな様子を表していますか。

「雪」の詩で「雪だこと」という表現を使っているのは何を表現するためですか。

5) 教科書 p66 「言葉を分類しよう」より

□の中の言葉を自分のやり方で分類してみましょう。どんなとくちょうに目を向けて分けたかも書いてください。

以上です。

<今週の授業のようす―第二十五回：二学期最終回>

◇一時間目

「年賀状の書き方」

実際に日本の家族／友だちに宛てて年賀の手紙を書きました。

定型文の書き方と意味：「明けましておめでとうございます。／よいお年をおむかえください」

近況報告と相手の近況をたずねる文章を入れる。

手紙の書き方は必ず「ですます」調で書くこと、自分の事をかくときは美化語（お元気、お変わりない）は使わない、目上の人への手紙は敬語を使う、漢字で書けるものは漢字で書いた方が読みやすい、などのルールを学びました。

→宿題として他の人々へも年賀状を書いて投かんしてください。その際上記のルールを復習してください。

二時間目

大かるた作成

◇三時間目

教科書 p55 「物語を書こう」より

先週の宿題で創作してきた物語をそれぞれ作者が朗読、先生が範読しました。

どの物語も独特のテーマと＜起承転結＞のある面白い作品に仕上がっていました。子供たちは他の友達の作品を興味深く聞いていました。

なぜ、そういう話の流れになるのか、質問が出たので作者と一緒に考えました。

教科書「冬のたのしみ」より

年末の言葉、お正月の言葉について学びました。

→イギリスでもできるものについてはご家庭で実践してみてください。

ゲーム「日本列島すごろく」

日本の都道府県と名産品のすごろくで遊びました。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

三年生の漢字を書く練習をしてください。1週間に10文字ずつ。

休み中ではありますが、頑張ってください。

2) 作文

年末年始におきたできごとで、先生や皆に教えたことを

日記か作文の形式で書いてきてください。

3) 年賀状投かん

日本の家族・友達にあてた年賀状を、あと 2 人分、書いて投かんしてください。

4) 年越しそば

12 月 31 日に年越しそばを食べましょう（お家に材料があれば）。

もし可能であれば、年越しそば、除夜の鐘の由来は何か、調べてみましょう（または日本のご家族とスカイプする際に由来について話題にしてみましょう。）

1 2 月 1 4 日

えびす塾 三年生の保護者のみなさま

<今週の授業のようすー第二十四回>

◇一時間目

三年生の漢字 10 文字

教科書下巻 p42 「三年とうげ」

- ・ 第一・第二場面を、ひとりずつ交代で音読しました。
- ・ 各場面の内容がそれぞれそのような内容になっているか、物語の構成を意識させながら、確認していきました。

◇二時間目

「すがたをかえる大豆」のテーマで研究発表

◇三時間目

教科書下巻 p42 「三年とうげ」

- ・ 第三・ 第四場面を、ひとりずつ交代で音読しました。
- ・ 各場面の内容がそれぞれそのような内容になっているか、物語の構成を意識させながら、確認していきました。

p53 「民話や物語の組み立てを考えよう」

三年とうげの挿絵を見ながら、第一～四場面まで、何をテーマとしていたか、ノートに書きだしました。

p55 「物語を書こう」

今度は、実際に自分で物語を書く際に必要な要素について 学びました。いつどこでだれが、なにをしたか。

三年とうげの場面設定にならい、＜起承転結＞のある四つの場面構成の物語を作る。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

今日授業で学習した三年生の漢字を書く練習をしてください。

下記の 10 文字です。

いつものように、音訓の読み仮名をつけ、書く練習をした上で、例文を一文作りましょう。

酒 主 開 味 服 葉 実 列 発 詩

(例) 酒 しゅ・さけ 日本酒を飲む

2) 作文

「三年とうげ」と「物語を書こう」を参考にして、自分で物語をつくりましょう。

いつものようにノートに書いても良いですが、

時間があれば、別の紙に挿絵と一緒に書き、絵本のように作ってもよいです。

来週の授業中に発表してもらいます。

3) 来週の授業中に日本の家族・友達にあてて年賀状を書きます。

葉書または便せんを2~3枚もってきてください。

12月7日

◇一時間目

うつまるくん<1><5>

教科書下巻 p4 「ちいちゃんのかげおくり」

→会話「 」の後、～と言いましたと書く代わりに使われている同様の意味の言葉をノートに書き出しました。つぶやきました、聞きかえしました、たずねました、せつめいしました・・・など。またそれぞれの意味について考えてみました。

→第1場面～5場面（最後）までをパートに分かれて音読のしあげ。保護者の皆さんの前で発表しました。

二時間目

大かるた作成

◇三時間目

教科書 p59 「漢字の広場—二年生の漢字」 より

絵を一つえらび、全ての漢字を使って絵を見ながら文章を作りました。

二年生の漢字でしたが読み方を忘れていた子供がいました。

過去に学んだ漢字を復習することが重要ですので、同じプリントを何度でもやりましょう。

教科書 p36 「すがたをかえる米」

先生が範読した後、p35 の図の空欄に何が入るか考えました。

「ゆでる」と「むす」のちがい。餅は「たたく」ではなくて「つく」。

しらたまを漢字で書くと「白玉」などの発見がありました。

p26 「すがたをかえる大豆」

先生が判読しつつ、掲載写真がどの食品か確認しました。

来週二時間目に、試食、さらに宿題とした「すがたをかえる 〇〇〇」の発表をしてください。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

うつしまるくん<1>

2) 作文

教科書 p36 「すがたをかえる米」と、p35 の図を参考にして、

それぞれ選んだ食材がどんな姿に変わるか、説明文を書きましょう。

来週の二時間目に発表できるように、図や絵を書いてきてください。

p55 「物語を書こう」の構想をねってください。

物語の発表は12月最後の週とします。

3) 音読

p26 「すがたをかえる大豆」

二時間目に担当分を音読してから試食してください。

1 1月30日の授業

◇一時間目

教科書下巻「ちいちゃんのかげおくり」

第3場面～5場面（最後）までをパートに分かれて音読した後、この部分の各点について、子供たちに考えてもらいました。

宿題 p11, 13 の「一」に含まれる言葉について発表

p14 ちいちゃんは「深くうなづきました」と二回あります。この時のちいちゃんの気持ちとはどんな気持ちだったでしょう。自分だったらどうしたか。

第三場面の後半から先は、ちいちゃんの心の中の声や心の中だけに見えることがあります。実際に起こっていることとちいちゃんの心の中でおきていることを区別しました。

p15 「熱いような寒いような気がしました。ひどくのどがかわいています」とはちいちゃんのどのような状態をあらわしていますか。

ちいちゃんが実際に亡くなった瞬間を示す文章はどれですか。

p18 「小さな女の子の命が、空にきえました」とありますが、なぜ「ちいちゃんの命が」と書かずに小さな女の子としたのでしょうか。

この物語に第5場面がある理由はなんでしょう。なぜ作者は第五場面（現代のシーン）を書いたのでしょうか。

→これらは物語を深く読む、読解力をためす質問です。子供たちはそれぞれ異なる意見を述べたり、その子なりの考えを述べていて興味深かったです。他人の意見を聞いて、「こうかもしれない」と考えを膨らませることができました。

会話「 」の後、～と言いましたと書く代わりに使われている同様の意味の言葉を抜き書きしました。つぶやきました、聞きかえしました、たずねました、せつめいしました・・・など。

→続きを宿題とします。

二時間目

手作りのあおぐとひらひら飛ぶおもちゃを作りました。。

◇三時間目

うつしまるくん<下>5 10分間チェック

→書き終えるのに15分程度かかってしまいますが、正確に写し取れるようになってきました。

教科書下巻 p42 三年とうげ

先生が範読をした後、どういう話の筋書きだったか順を追って確認しました。

p52「えいやらえいやらえいやらや～こりやめでたい」と歌ったのは誰だったのでしょうか？という問いについて考えてみました。

物語を5場面に分け、第一、第二場面の音読を一人ずつしました。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

三年生<上巻>までの読み方・書き方ワークを作成しましたので各自のペースで活用してください。

2) 作文

「ちいちゃんのかげおくり」全体を読んだ感想文を書きましょう。

p21 の感想文の書き方を参考にしても良いです。

p55 「物語を書こう」

これから 2～3 週間かけて物語を考えてもらいます。

構想をねりはじめてください。「三年とうげ」を参考に起承転結（はじめ、できごと、できごとのへんか、むすび）のある物語を

挿し絵と一緒に作ってください。物語の発表は 12 月最後の週とします。

3) 音読

教科書下巻「三年とうげ」 p42－48（第三場面まで）リズムよく読むようところがけましよう。

4) ワーク

「ちいちゃんのかげおくり」では、会話「 」の後、～と言いましたと書く代わりに同様の意味の別の表現が使われています。つぶやきました、聞きかえしました、たずねました、せつめいしました・・・など。これをノートに全て書きだしてきましょう。

11月16日の授業の様子

◇一時間目

教科書上巻 p128 「ものごとを表す言葉」より、

つくってきた文章の発表

友達の選んだ三つの言葉を使って自分でも文章を考える。

→意味の確認と、実際の使いかたが学ぶ。

他の人の話をきく、他の人に助け舟を出す、など子ども同士の相互作用を引き出す。

教科書下巻「ちいちゃんのかげおくり」

第1場面～5場面（最後）までをパートに分かれて音読

p7「今日の記念写真だなあ。」といったお父さん。なぜこの日に「記念写真」をとろうとしたのでしょうか？

→宿題で考えてきた理由を発表しました。

ちいちゃんは、最後に死んでしまいますが、具体的にはどの文章が死ぬ瞬間を表していますか。

→なかなか難しい質問でしたが、答の分かった子どもがいました。

二時間目

泣いた赤鬼練習。文化祭発表用

◇三時間目

うつしまるくん<下>2写すコツ

会話のカギカッコをどのマス目に入れば良いか、確認しました。

教科書下巻 p23 漢字の広場

好きな挿絵を選んで、そこに出てくる言葉を全て使って文章を作る。

→次々にアイデアが浮かびました。文章のてにをはが、段々正確になってきました。別の機会に物語作りというものをやる予定です。

教科書 p40—41 漢字の意味

同じ読み方でも漢字の違いで異なる意味を示すことができることを学びました。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

同じ読み方の漢字を集め、文章を作りましょう。

例えば、「き」「よ」「し」「ち」「かわ」「かい」「かみ」「に」など今まで習った漢字の中から二つの読み方を選ぶ。

三年生<上巻>までの読み方・書き方ワークを作成しましたので各自のペースで活用してください。

2) 作文

「ちいちゃんのかげおくり」より

p13 1行目 ところがうちなのかーのーに続く言葉は何だと思いますか。町はどのようになっていますか。

p11 2行目 ぶつかったりーのーに続く言葉は何だと思いますか。人々はどんなようすですか。

第三場面と第四場面の中から、一番印象に残った部分をそれぞれ抜き出し、なぜ印象に残ったか理由を書きましょう。

3) 音読

教科書下巻「ちいちゃんのかげおくり」

p12-18 (3,4部) の自分のパートとナレーション部分を音読しましょう。

自分のパート以外はお母さんに読んでもらいましょう。

4) うつしまるくん 下3 ちいちゃんのかげおくり

1 1月9日の授業の様子

◇一時間目

教科書上巻 p129 「気持ちを表す言葉」より、つくってきた文章の発表

友達の選んだ三つの言葉を使って自分でも文章を考える。

→意味の確認と、実際の使いかたが学べました。

同 p128 「もの・ことを表す言葉」

ひとつずつ意味を当てる

実際の使いかたについて考える

→宿題として再び、3語選んで文章を作ってきてください。

二時間目

泣いた赤鬼の練習

◇三時間目

うつしまるくん<上> 15 チャレンジ漢字の半分

→残り半分は宿題。

教科書上巻「かげおくり」

第1場面～3場面までをパートに分かれて音読

それぞれの場面で印象に残った部分、なぜ印象に残ったか、自分ならどうするか、主人公の気持ちについて意見を出し合いました。

映画「火垂るの墓」の場面と比較しながら、「防空壕」「サイレン」「しょういだん」などがどんなものであったか、確認しました。

→続けて第4場面まで、おうちで音読練習をしましょう。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

うつしまるくん 15 左側（できれば上の段を見ずに）

三年生<上巻>までの読み方・書き方ワークを作成しましたので各自のペースで活用してください。

2) 作文

教科書上巻 p128 「ものごとを表す言葉」より、

3つ言葉をえらび、それぞれについて文章をつくりましょう。

p7「ちいちゃんのかげおくり」より「今日の記念写真だなあ。」といったお父さん。

なぜこの日に「記念写真」をとろうとしたのでしょうか？

理由を考えて書いて見ましょう。

3) 音読

教科書下巻「ちいちゃんのかげおくり」

p4~18（5部のうち4部まで）の自分のパートとナレーション部分を音読しましょう。

自分のパート以外はお母さんに読んでもらいましょう。

< 11月2日の授業のようす—第十九回 >

◇一時間目

「ハーフタームで楽しかったこと、他の人にも話したいこと。」をテーマに話し合いました。

話題に上がった事柄から派生して「学校の友達のこと」「好きな食べ物」など

身近な話題をとりあげ、相手の子供の意見に賛成か反対か、それはなぜかということを話す練習をしました。

他人に分かるように話を伝える、自分の話ばかりしない、他の人の話にきちんと耳を傾ける、他の人の意見に対し自分はどうかを伝える、ということが目的です。

二時間目

漢字カルタの作成

◇三時間目

うつしまるくん<上>でそれぞれやり残しているページを終わらせました。

教科書上巻 p129 「気持ちを表す言葉」

それぞれの言葉を読み、どういう意味か、どういう使い方ができるか考えました。

教科書下巻 p 38 「俳句、短歌」音読

全員・一人ずつ 5, 7, 5, 7, 7 のリズムで詠唱しました。

<宿題は下記の通りです>

1) 漢字学習

三年生の漢字の学習をノートにしてください。

三年生<上巻>までの読み方・書き方ワークを作成しましたので各自のペースで活用してください。

2) 作文

教科書下巻 p 38 「俳句、短歌」より、一番と二番目に好きな句を選び、

句をノートに清書し、その句のどの部分がなぜ好きか、書きましょう。

教科書上巻 p129 「気持ちを表す言葉」より、

3つ言葉をえらび、それぞれについて文章をつくりましょう。

「私は水泳には自信があります。」など。

3) 音読

教科書下巻 「ちいちゃんのかげおくり」

p4~12 (5部のうち2部まで) の自分のパートと説明部分を音読しましょう。

自分のパート以外はお母さんに読んでもらいましょう。

4) うつしまるくん<上>

残っている部分で漢字以外の部分を終わらせましょう。

来週はうつしまるくん<下>を持ってきてください。

10月19日の3年生の授業

えびす塾 三年生の保護者のみなさま

<今週の授業のようす―第十八回>

◇一時間目

教科書下巻 p 38 「俳句、短歌」音読

ひとつひとつの句の意味について説明をした上で全員・一人ずつ音読しました。

5, 7, 5, 7, 7のリズムが大切です。

→好きな句を一つ選んでどの部分が好きかなぜその句が好きか、書いて来ることを宿題とします。

うつしまるくん<12>10分間チェック (3)

→うつしまるくん<上>最後の10分間チェックでした。丁寧にしかも速く書くことを目的としたワークです。どの子供もその点についてはかなりレベルがあがりました。

二時間目

ハローウィンビンゴ

◇三時間目

教科書下巻 詩「あおぞら」

全員で音読

「ちいちゃんのかげおくり」

先生の範読のあと、物語を5つの部分にわけ、最初の1部を家族四人にパートわけして音読しました。

1) 漢字学習

三年生の漢字の学習をノートにしてください。

2) 作文

教科書下巻 p38 「俳句、短歌」より、好きな句をひとつ選び、どの部分が好きか、なぜ好きか書いてきてください。

日記：ハーフターム中にしたこと教室のみんなに聞いてほしいこと。

3) 音読

教科書下巻「ちいちゃんのかげおくり」

p4~12（5部のうち2部まで）の自分のパートと説明部分を音読しましょう。

自分のパート以外はお母さんに読んでもらいましょう。

4) 映画鑑賞

以前「火垂るの墓」鑑賞についてご提案しましたが保護者の方の判断で鑑賞する場合、この休み中に観てみてください。下記にDVDをお持ちでない方のためにYoutubeのリンクをはります。今日子供たちに聞いたかぎりでは、小学校で第二次世界大戦についての学習はしている・し終わったということのある程度の予備知識があるものと思います。

10月12日の3年生の授業

◇一時間目

さざえさんの日本地図を見ながら「ご当地自慢」ゲーム、お母さんの出身県はどこにあるか？

→子供たちが日本の地理に興味を持っている様子だったので、授業中か2時間目で

しばらく続けたいと思います。

教科書 p104 「わたしと小鳥とすずと」「みいつけた」 ひとりずつ音読

うつしまるくん 10分間チェック

→だんだん子供たちの書くスピードがあがってきました。10分余りで丁寧に写しとることができました。

二時間目

漢字カルタの作成の後、久しぶりに習字をしました。

◇三時間目

教科書下巻「主語、述語、修飾語」

「いつ、どこで、だれが、なにをした」ゲームをし、子供たち皆で作った「面白い文章」のうち主語、述語、修飾語がどれかを見つけました。

教科書下巻「俳句、短歌」音読

→節をつけて音読しました。

1) 漢字学習

のぎへん

ひへん

たけかんむり

をノートに書いて練習してください。

教科書の手本を参照して書き順を正しく書きましょう。

2) 作文

書く時間のある子供は日記を書いてください。

3) 音読

教科書下巻「俳句、短歌」

節をつけて、5、7、5、7、7のリズムで詠みましょう。

10月5日の授業の様子

◇一時間目

教科書 p104 「わたしと小鳥とすずと」「みいつけた」 音読

先週お休みだった子供もいるので、各子供に再度詩を朗読してもらいました。

教科書 p125 「ローマ字」

ローマ字クイズ：先生が言う文字をローマ字で書くと何になりますか。

皆の名前をローマ字でつづってみましょう。

→つづり方の比較的難しい「つ」「きゃ」「ちゃ」「にゃ」「ぎゃ」「びゃ」「おお（伸ばす音）」「ら行」

などを特に重点的に教えました。

→引き続き宿題として出します。

教科書 p128 「思ったことやかんじたことを表す言葉」のうち

人物について用いる言葉

クイズ形式で、それぞれの言葉がどんな性格を表すのか考えました。

→引き続き宿題として出します。

◇三時間目

「うつしまるくん」（6）短歌・俳句

お手本どおりに（自分の癖字ではなく）書くことを意識させました。

書いた後、音読しました。

教科書 p92 「いろはにほへと」

先生が朗読し（二度目）、挿絵と物語をてらしあわせながら聞き、

自分が面白いと思ったところについて最後に一人ずつ述べました。

教科書 p118 秋の楽しみ

秋の季節もので好きなもの（こと）はなんですか

二年生の漢字カルタとり

→ほぼ忘れずに覚えています。が、何度でも復習することが重要です。

過去にならった漢字の学習はくりかえししましょう。

三年生前半の漢字カルタをハーフターム後から入れたいと
思っていますので、各自のペースで三年生の漢字も進めてください。

<宿題>

1) 漢字学習

くにがまえ (国、回、囟、園)

もんがまえ (門、聞、問、開、間)

をノートに書いて練習してください。

教科書の手本を参照して書き順を正しく書きましょう。

2) 作文

p128 上部の人物をあらわす言葉のなかから、

今まで知らなかった表現を二つ選び、その表現に合った人を

自分の家族・親戚・友人の中から選んで、

「**は おとなしいです。なぜなら****だからです」

という文章を作りましょう。

3) お家で読んでおきましょう

p 129 「気持ちを表す言葉」

4) うつしまるくん三年上

4 原稿のつかいかた

13 ローマ字を書こう

9月28日の授業

<今週の授業のようす―第十五回>

◇一時間目

宿題で書いてきた「みいつけた」の題名の詩を一人ずつ発表。

発表後友だちの詩について「どこが好きか」「どうして好きか」意見を言い合いました。

→感性の瑞々しいとても素晴らしい詩が書けました。題名を与えて詩の書き方をまねながらも個性がそれぞれ出ており、子供たちの創造性を感じました。

「うつしまるくん」文章を書きとる練習と句読点や「」の書く位置に注意するように指導しました。

教科書 p59 「符号など」から、さらに符号の使い方について指導しました。

二時間目

グライダー作り

◇三時間目

教科書 p 116 「へんとつくり」より

くさかんむり、うかんむり、の付く、これまでに習った漢字を書きだした上で、共通点は何かを子供たちに考えてもらいました。宿題でさらにこれを続けてもらいます。

教科書 p50 「いろはにほへと」一人ずつ暗唱

教科書 p92 「いろはにほへと」先生が音読し、どの場面が好きだったかこたえてもらいました。

<宿題>

1) 漢字学習

ごんべん、さんずい（のうち、まだ教室で書いていないもの。3年生上巻の漢字も含めてください）漢字を4つずつ、あめかんむりを3つ書き出して今日教室で練習したようにノートに書いて練習してください。書き順を間違えないように。

2) 作文

・手紙の返事が来たら持ってきてください。

・教科書 p 125、134 ローマ字の入力

→おうちで子供たちはパソコンのキーボードを使える場合は、日本語入力の仕方を教え、「いろはにほへと～」を50音入力してください。

3) お家で読んでおきましょう

p 128 「人物や事柄について用いる言葉」

4) うつしまるくん三年上

1 1 詩をうつそう

9月21日の3年生の授業の様子(第十四回)

◇一時間目

「うつしまるくん」を使って、どのように文章を書きとる練習をすれば良いか指導しました。

→本来は 10 分ほどで終わる文章に倍近く時間がかかりました。慣れてくると丁寧に書いてもスピードがあがってくるはずなので、引き続き宿題とします。ポイントは、文節ごとにかたまりとして読み、意味をつかみながら書きうつしていくことです。「ワタルが」「一生けんめいに」「れん習しました」という風に。

教科書 p 116 「へんづくり」より

さんずい、きへん、しんによう、ごんべんの付く、これまでに習った漢字を書きだした上で、共通点は何かを子供たちに考えてもらいました。宿題でさらにこれを続けてもらいます。

→最終的には習った漢字の中からできるだけ多くの部首で構成されている漢字を集めて

二時間目を使って、「漢字部首カルタ」を自分たちで作って遊んでもらおうかと考えています。

二時間目

連想ゲーム、フルーツバスケット

◇三時間目

教科書 p50 「いろはにほへと」一人ずつ暗唱

教科書 p104 「わたしと小鳥とすずと」「みいつけた」音読

この二つの詩の共通点はどこか、意見を出してもらいました。

→違うところはどこか考えることを宿題とします。

<宿題>

1) 漢字学習

にんべん、いとへん の漢字を4つずつ、書き出して今日教室で練習したようにノートに書いて練習してください。書き順を間違えないように。

一年二年の漢字も忘れないように読み・書きテストをプリントアウトして各自のペースで繰り返しやってみましょう。

2) 作詞

・「みいつけた」という題名で詩を作ってください。

・先週書いた手紙を投かんしてお返事が来たら、持ってきてください。

3) 音読練習

「わたしと小鳥とすずと」「みいつけた」 音読

4) うつしまるくん三年上

2 うつすコツ (1)

< 9月14日今週の授業のようす—第十三回：二学期初日 >

◇一時間目

一人ずつ別々のテーマで、他の子供に紹介・説明する。10分ずつ他の子供たちの質問に答える。

「私のいとはこんな子」「キッザニアはこんなところ」「昨日作ったクラフト」「私の日本のお友だちはこんな子」

→他の人が知らない物事を、分かりやすく説明する。そのため”資料”(写真、会場地図、チケット、カード、実物)があると、説明も伝わりやすいし、他の子供たちの興味もひく。

→それぞれ、聞いてほしいことがたくさんあって、話題がどんどん広がり良い。

→ただ、他の子供が話している時は静かに耳をかたむけ、タイミングを見て質問をしたり自分の考えを述べたりするということがまだ難しいようです。今後も、説明、質疑応答、意見を述べる というやりとりの演習をします。

二時間目

お月見お団子づくり

◇三時間目

教科書 p50 「いろはにほへと」 暗唱

教科書 p104 「わたしと小鳥とすずと」「みいつけた」 音読

→詩の「連」について説明しました。

→どの詩が好きか、なぜ、どんなところが好きか、意見を出し合いました。

<宿題>

1) 漢字学習

<課題>

一・二年生の漢字の復習

三年生の新出漢字を各自のペースで学習し、書き順に注意しましょう。

字を丁寧に書く子供が増えています。その調子で知っている字でもなぐり書きせずに綺麗に書く練習をしましょう。

ドリルを購入した子供は、ドリルを「早く進む」ことよりも、ドリルを利用して別ノートに書きだし「何度も同じ字を書いて練習し手と目にしみこませる」ことに重点を置いてください。

2) 作文

- ・書いた手紙を投かんしてください。お返事が来たら、持ってきてください。
- ・日記

3) 音読練習

- ・教科書「いろは歌（p 50）」暗唱。覚えるまで暗記してください。読み方ですが、音読して読むと下記のようになります。

ご存知のように昔の仮名つかいと実際の読みに「ずれ」がありますので

昔の仮名つかいを目でみながら音読する練習をし、最終的には暗記してください。

実際の読み方：

いろはにおえどちりぬるをわがよたれぞつねならん
ういのおくやまきょうこえてあさきゆめみじよいもせず

漢字で書くと：（これは子供たちには教えていません。）

色はにほへど 散りぬるを

我が世たれぞ 常ならむ有為の奥山 今日越えて浅き夢見じ 酔ひもせず

意味については諸説ありますが、下記を参照してください：

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hirano/nyumon/iroha.htm>

4) うつしまるくん三年上

5) お礼の手紙の書き方

9月7日 2学期第1回目の3年生の授業の様子

◇一、三時間目とも

夏休みの出来ごとの中から、

・心に残ったこと、経験

・また会いたい人

をそれぞれ20分間話してもらいました。

発表の途中や終わった後に、他のお友だちや先生からの質問に受け答えしてもらいました。

その際、他の子供たちは、自分にも同じ経験があるか、自分だったらどうしたいか、という

感想を言ってもらいました。

→夏休み中、日本や海外での出来事・経験を、時間が足りないくらい

たくさん語ってもらいました。

写真を見せたり、印象にのこっていることを思い出したりしながら、

他の子供たちにも分かりやすいように順序立てて話をする練習となりました。

→日本での経験や、日本のご家族と過ごす時間のお蔭で、日本語の会話能力がとてものびました。可能であれば週末に Skype で 2、30 分でも対面でお話できる相手を見つけてください。

→来週までの宿題として、日本で会いたい人に手紙を書いてきてください。

<宿題>

1) 漢字学習

<課題>

一・二年生の漢字の復習

三年生の新出漢字を各自のペースで学習し、書き順に注意しましょう。

字を丁寧に書く子供が増えています。その調子で知っている字でもなぐり書きせずに綺麗に書く練習をしましょう。

ドリルを購入した子供は、ドリルを「早く進む」ことよりも、ドリルを利用して別ノートに書きだし「何度も同じ字を書いて練習し手と目にしみこませる」ことに重点を置いてください。

2) 作文

- ・日本でまた会いたいお友だちや文通相手に手紙をしたためましょう。

「***は楽しかったですね。」「今度会ったら***がしたいです。***に行きたいです」など、夏休みの経験をふりかえるお手紙にしましょう。投かんしないで持ってきてください。

- ・夏休み中の出来事の中から印象に残っていることを作文しましょう。

どこへ、誰と、何をしに行ったか。どんなことがあり、自分はどう思ったか。何を学んだと思うか。

3) 音読練習

- ・教科書「いろは歌（p 50）」暗唱

- ・教科書「海をかつとばせ」音読。

<今週(7月13日)の授業のようす―第十一回：一学期最終>

◇一時間目

夏休みの予定についてそれぞれ話してもらいました。

教科書「俳句・短歌」

・好きな一句を皆の前で暗唱

→好きな句というだけあって、上手に詠めました

・全ての句を皆で・一人ずつ詠む

→5, 7, 5のリズムで節をつけて詠むことに慣れました。

「いろはにほへと」

・先生の後について一人ずつ・皆で音読

→夏休み後までに暗唱してきましょう。

教科書「海をかつとばせ」

文章を区切ってひとりずつ音読

ワタルはどんな人物ですか？→文章から読み取る練習

◇三時間目

教科書「ばけくらべ」

先生が朗読

「すごろく」遊び

<夏休みの宿題>

1) 漢字学習

<課題>

二年生までの漢字は全て完全に覚えるようにしましょう。

何度でも「二年生の漢字読み・書きテスト」をやってみましょう。

苦手な漢字（よく忘れる、間違える）は、ノートに書きだして練習しましょう。

忘れても間違えても、頻繁に目に触れ、手で書いていることに意味があります。

<参考教材 1>

日本に帰国する場合は漢字カルタなどのゲームを買って親戚やお友だちと遊んでみてください。

（あるいは各自で買わず、えびす塾で一組買って使うというのでも良いと思います）

<http://www.tarojiro.co.jp/kanji/kanji-s01-01/>

<http://www.tarojiro.co.jp/kanji/kanji-product/?pro=330>

3つのカルタのうち、101カルタは3年生にはちょっと簡単すぎる

（一年生の漢字が多い）と思いますが、復習・基礎強化と言う点では楽しく学べます。母子一対一で遊ぶ場合は、フラッシュカードのように見せて口頭で読み方を答える、という風にできます。

部首カルタ遊びは、2年生以降、部首のある漢字が増えてきたので部首の意味（ルール）を理解すると漢字を覚えやすい

という利点があると思います。

形声カルタは少し難しいかも知れません。

<参考教材 2>

ひらがな、カタカナの復習

机の前などにはれるポスターPDF

<http://happyilac.net/hiraganahyo.html>

ひらがな

<http://happyilac.net/katakanahyo.html>

カタカナ

<http://happyilac.net/karuta-katakana.html>

カタカナのカルタ

2) 作文

①「海をかつとばせ」より

全文を声に出して読みましょう。

主人公ワタルはどんな性格だと思うか。ワタルがしたこと、言ったことから想像してみる。自分と似ているところと違うところはどこか。自分ならどうするか、どう考えるか。

②日本にいる親戚（大人）宛てに手紙を書く

（日本に帰る子供は、イギリスに戻ってから書く）

教科書「手紙を書こう」p83-84 を参考に、比較的正式な文面の

手紙を書いて送りましょう。

用件がきちんと相手に伝わるように書きましょう。

手紙にはあるていどきまった「型」があるので、まねをして書いてみましょう。

（お礼の手紙か、報告などの内容。）

③読書感想文 1冊分

心に残った部分、なぜそう思うか。

同じ経験をしたことがあるか。自分ならどうするか。

(ただし、読書は各自のペースで何冊でもしましょう。)

④本の紹介文 1冊分

感想文とは少し違います。本のあらすじ、

どんなところが面白いとおもったか、など。

授業で発表してもらいます。

聞いた人が読みたくなるような紹介文を書きましょう。

(参考：教科書 p90)

⑤DVD「平成狸合戦ぽんぽこ」を鑑賞

印象に残ったところはどこですか。

(教科書「ばけくらべ」より)

3) 音読練習

教科書「いろは歌 (p 50)」暗唱しましょう。

4) 日本のお友だちの紹介

仲の良い日本のお友だちについて紹介してください。

7月6日の3年生の授業の様子

◇一時間目

科学の本「石ころ」

先回の宿題より、科学の本を読んで感想を書くということで

児童が持ってきてくれた上記の本を先生が読み聞かせました。

石の生成過程を「石の旅」として分かりやすく説明した本でとても良い教材となりました。

→「科学」をテーマに観察日記などを先回の宿題で書いてきてもらいましたが

どの子供もそれぞれに面白いテーマを見つけて観察日記をかけていました。

夏休み中にも続けましょう。

教科書「俳句・短歌」

・先生の後について一人ずつ・皆で音読

節をつけて、ハッキリとした発音で詠む

→ここ何週間か家庭でも練習した成果が出てきました。

5, 7, 5のリズムで上手に詠めるようになりました。次は暗唱しましょう。

二時間目

七夕の短冊作成や折り紙で飾りをつくり、それぞれの笹の葉に飾りました。あさひの子ども達一緒に七夕の歌を合唱しました。

◇三時間目

教科書「気になる記号」

・宿題で探してきた記号について一人ずつ発表しました。

- ・知らない記号について、どういう意味か考えました。

教科書「海をかつとばせ」

- ・先生と一緒に途中まで朗読

二年生の漢字カルタ

→ほぼ全ての二年生の漢字を覚えてきているので、とれるカードの枚数も互角になってきました。

夏休み後は三年生の漢字を少しづつ足していく予定です。

1) 漢字練習

二年生までの漢字は、確認テストプリントを何度も行って完全に覚えましょう。

三年生の漢字は各自のペースで先に進んでください。

練習なので、えんぴつをきちんと持ち、書き順、トメハネハライにも気を配って書くようにしましょう。

先生がXをつけて返した漢字はよく注意しながらお家で再度練習してください。

2) 作文を一種類

日記、読書感想文、映画鑑賞感想文、気がついたこと など

3) 音読練習

教科書「俳句・短歌」の中から好きな一句を選び、暗唱しましょう。

なぜその句が好きか、理由を書きましょう。

教科書「いろは歌（p 50）」

教科書「海をかつとばせ」 p 64～67

6月15日の授業の様子

◇一時間目

教科書「俳句・短歌」

・先生の後について一人ずつ・皆で音読、節をつけて、ハッキリとした発音で詠む、句の意味について説明

・自分でも俳句をつくる

→季節に関するテーマを自分で考え、そのテーマにそって5, 7, 5のリズムになるよう言葉を先生と一緒に考えました。

→なかなか難しい課題だったので、言葉遊びとして楽しめる子供と、テーマを思いつくのに一苦労という子供に分かれました。科学の本で好き嫌いが分かれるように、子供により反応は異なって当然なので、保護者の方々はあまり気にせず、一つの課題としてお家でも取り組んでください。

◇二時間目

夏祭りのチラシ作成と盆踊りの練習

◇三時間目

教科書「ありの行列」

・皆で音読

・「～ました」「～です」の違いについて

・宿題で書いてきた実験結果の発表

→具体的な数字（距離、時間、量 など）を入れると分かりやすい。

「まず、はじめに」「つぎに」「しばらくすると」「やがて」「ようやく」「そのうちに」など時間的経過を示す言葉を使いましょう。

・先生がアリについて調べてきました。

→「ありは何の仲間でしょう。」「ありの食べ物は何でしょう。」「なぜそう思いますか？」

などの質問を子供たちになげかけました。

教科書「気になる記号」

・先生と一緒に音読

<次回までの宿題>

二回お休みがありますので多めに出します。

1) 漢字練習

2) 作文 二つ

・虫、植物、動物などを実験・観察し、その過程と結果を作文にしましょう。

・「科学」に関する本（日本語）を読み、感想文を書きましょう。（特に印象に残った部分。何故そう思うか。自分はどう思うか。）

3) 音読練習

教科書「俳句・短歌、いろは歌（p 50）」。一音一音正確に、且つ、節をつけてよんでみましょう。

教科書を読まずにお母さんに続いて口ずさむ練習法で行ってみましょう。その際、俳句・短歌独特の節（ふし）をつけて読みましょう。「え」段、「た」行、「ど」の音に注意してください。

4) 集める

教科書「気になる記号」に関連して、

パッケージについている記号を少しずつ集めましょう。

〈6月8日の授業の様子〉

一時間目

教科書「ありの行列」

- ・先生の朗読を聞く
- ・皆で音読
- ・なぜ行列ができると自分は考えるか。
- ・内容把握。「実験」と「観察」とその「結果」。
- ・この話で行われた実験を実際にやってみましょう

→子供たちから面白い質問が出ました。

「最初のアリはどうやってエサの場所を見つけ、巣に帰るのか」

「砂糖以外の甘くないものも食べるか」

「どのくらいの距離まで探せるか」

→実際に「実験」してみましょう：宿題

二時間目

夏祭りの広告を皆で作成しました。

◇三時間目

日直の「調べたこと」発表

- ・「海にすむ哺乳類」の話
- ・「はじめ」「中」「おわり」と三つのパートに分けて上手く書けていました。

→子供たちは発表を聞いてどの部分が各パートに当たるか、答えました。

→説明の文章を書くときには重要な文の構成です。作文をする際に

この点に気をつけて書くようにしましょう。（もう少し高度になると

起承転結となりますが、現段階では三パートで OK)

→「もし私だったら～すると思います」「なぜなら～だからです」

「まるで～のようです」、擬態語・擬音語などの表現もおりませましょう。

教科書「俳句・短歌」

・先生の後について一人ずつ音読

→現時点では意味が全てわからなくても（もちろん分かってても）良いです。

句の詠む練習を、教科書を読まずにお母さんに続いて口ずさむ練習法で

行ってみましょう。その際、俳句・短歌独特の節（ふし）をつけて読みましょう。

「え」段、「た」行、「ど」の音 に注意してください。

注意するとどの子もちゃんと読めますので、少しでも英語的な発音が

出てしまったら言い直しましょう。

リズム、語感をなじませることが最初の課題です。

何度も声にだして、5、7、5（7,7）の言葉のリズムに慣らせてください。

<次回までの宿題>

1) 漢字練習

二年生までの漢字を各自完全に覚えるよう練習しましょう。終わった人は新三年生の漢字に入ってください。

2) 作文

ありの行列について上記に書かれた実験をやって観察記録をつけてください。

3) 音読練習

教科書「俳句・短歌」。一音一音正確に、且つ、節をつけてよんでみましょう。

<6月1日の授業のようす>

◇一時間目

教科書「きつつきの商売」

- ・音読劇 二時間目の発表に向け、最終練習

→発音に注意する。強調するところ、間をとるところなどに気をつける。ゆっくり読む。

教科書「きちんとつたえるために」

- ・四コマ漫画ってなんでしょう
- ・どうして話の食い違いは怒るのでしょうか
- ・どうやったら相手に自分の伝えたいことを伝えることができるのでしょうか

→三時間目の「いつどこでだれがなにをした」ゲームへ続く

二時間目

1. 「きつつきの商売」音読劇
2. 音楽 「もりのくまさん」、「アイアイ」の歌を歌いました。

◇三時間目

「イルカのねむり方」感想文の発表

・「どの部分が印象にのこり、何故そう思ったのか」ということに加え、「自分（人間）だったら」という仮定に基づいた想像についても書いている子供がいたので、発表してもらいました。→友達の発表を聞いて、自分の感想文とどう違うか。読書感想文にはどんなことを書けばよいか、学ぶ。

「いつどこでだれがなにをした」ゲーム

- ・主語はどれ？ 述語はどれ？
- ・人にものを伝える時に気をつけるポイントでもあります。

二年生の漢字カルタ

<次回までの宿題>

- 1) 漢字練習

二年生までの漢字を各自完全に覚えるよう練習しましょう。終わった人は新三年生の漢字に入っにかまいません。

2) 作文

日記、映画鑑賞感想文、読書感想文、観察日記など好きなテーマでひとつ。

3) ありを観察しましょう

次回 p40「ありの行列」に入ります。

晴れた日に実際にありを観察してみましよう。

<5月18日の授業のようす一第六回>

◇一時間目

教科書より「きつつきの商売」

- ・音読 各役に分かれて通しで音読。
- ・自分のパート内で、工夫して読むべき部分に印をつけ、読みかたを欄外にメモ。

「じっくり」「ぴんと」

→お家での練習の成果がとても良く出ていました。音読してつまづくことが殆どなく、また読み方にも工夫が出てきました。次回の2時間目で発表できるように、休み中も練習をしてください。

日本昔話より動物を扱ったお話を朗読「花咲か爺さん」

→聞いたことのあるお話ですが、次々と出来事が展開していく物語なので子供たちは最後までよく聞いていました。

→子供たちがお話を音読する際にどんな風に読んだらよいか、参考にしてくれると良いです。

2 時間目

音読劇「きつつきの商売」練習及びお面作り

◇三時間目

教科書より「よい聞き手になろう」

即興、他の子供たちに聞いてもらいたいことを話し、他の子供たちは話を良く聞いて質問をする。

今日はハーフターム間近ということもあり、ハーフタームの予定について話しました。

→文化省の指導要領にもありますが、三四年生の課題の中には、「話すこと、聞くこと」という他人とのやりとりを前提とした課題があります。二年生の時も子供同士の相互作用に重点を置きましたが、三年生では特に、分かりやすい説明、言葉づかいや、質問の仕方、答え方など、さらに踏み込んだ指導をする予定です。

参考までに文科省「小学校学習指導要領解説国語編」（平成 20 年 6 月）↓

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2010/12/28/1231931_02.pdf

教科書より「漢字の音と訓」

- ・漢字カルタを使って、同じ漢字に異なる読み方があることに気付かせる。
- ・それぞれの読み方の特徴の違いに気付かせる
- ・漢字の読みには音と訓の違いがあることを説明

→どの子供もすぐに理解できました。二言語で育っているので「中国から輸入した言葉の翻訳」、という

概念が理解しやすかったのかもしれないね。

→今後漢字を学習する際には、音読みと訓読みがあることを意識しながら学びましょう。

< 5 月 1 1 日の授業のようす―第五回 >

◇一時間目

教科書より詩を二篇「わかば」「どきん」

- ・音読 全員で、ひとりずつ、かわるがわる（掛け合い）
- ・発音の練習。特に「え」段、「う」段、「た」行 の発音、伸ばす音、擬態語・擬音語

教科書より「きつつきの商売」

- ・音読 各役に分かれて通しで音読。
 - ・自分のパート内で、工夫して読むべき部分に印をつけ、読みかたを欄外にメモする
- 宿題として続けてください。

2時間目

こいのぼり紙版画完成

◇三時間目

宿題作文発表

・日直さんの日記紹介「ローマ人とケルト人」→とても面白い話がたくさんあって他の子供たちも先生も興味津津でした。

→作文宿題として、好きなテーマで調べ物をしてきて作文にするのは良いアイデアです。

・DVD鑑賞文紹介「ハリーポッター鑑賞文」→他の子供たちも最も印象に残っている場面を説明し、どうしてその場面が好きか理由を説明。

→皆が知っている日本のDVD（ジブリ映画など）をみて鑑賞文を書くのも良いと思います。

漢字カルタとり

- ・二年生の漢字

5月4日の3年生の授業内容です。

◇一時間目

教科書より詩を二篇「わかば」「どきん」

- ・音読 全員で ひとりずつ かわるがわる（掛け合い）
- ・音読の仕方を指導。（姿勢）
- ・発音の練習。特に「え」段、「う」段、「た」行 の発音に注意
- ・伸ばす音「みよう」の「う」を発音しないで「よ」を伸ばす。
- ・みしみし、がらがら などの擬態語・擬音語の部分を特に工夫して読む。

教科書より「きつつきの商売」

- ・音読 各役に分かれてひとりずつ読み、音読劇の練習。
- ・発音の練習。特に「え」段、「た」行 の発音に注意

2時間目

紙版画こいのぼり作成ーその1

◇三時間目

教科書より「春の楽しみ」

- ・音読 全員で、ひとりずつ
- ・言葉の説明
- ・見たことがありますか。食べたことがありますか。
- ・経験のある子供は未経験の他の子供にどんなものが説明してもらいました。

教科書より詩「しゃぼん玉飛んだ」

- ・音読
- ・どんな意味の詩なのか考えてもらいました。

漢字カルタとり

- ・二年生の漢字

4月27日 新3年生の授業内容

◇一時間目

教科書より詩を二篇「わかば」「どきん」

- ・音読 全員で ひとりずつ かわるがわる（掛け合い）
- ・言葉の意味、たとえの意味 「わかば」「晴れ晴れ」など

もくもく、さらさらなどの二語続く擬態語・擬音語を使って詩を創作

- ・擬態語から想像をふくらませ句をひねる
- ・題名を自分で考える
- ・皆の前で発表する

→非常に良い詩ができたようです。詩の創作は定期的に行います。

2時間目

お習字

◇三時間目

教科書より「きつつきの商売」

- ・音読 ひとりずつ

先生の春休みの写真から「日本の春」

- ・七五三、結婚式、和食、新幹線、京都、東京、花見などについて説明。

●2013年4月20日の授業内容は下記の通りです。

1時間目 短いスピーチ（先週あった楽しかったことを簡潔に発表してもらおう）ときつつきの商売を途中まで読みました。

最後に新しい漢字の振り仮名をふりました。

2 時間目：小えびすと合同でスパイラルビスケット作り。作った後は漢字練習。

3 時間目

ゲームではないですがずっと簡単なアクティビティにしました。

きつつきの商売ではきつつきは音を売っているので、子供達にも仮想のお店を考えてもらい、それを文章にして発表してもらいました。長文を書くのが比較的困難に感じる子どもも多かったようです。

宿題

きつつきの商売にでてきた新しい漢字の練習

きつつきの商売を最後まで声を出して読んでくる

絵日記

●2013年4月13日（土）の授業内容は下記のとおりです。今回は新4年生も3年生の授業に参加して合同で行いました。

1 時間目：作文。春休みの思い出について皆の前で発表。その後、各自春休みの思い出について原稿用紙を使用して作文を書きました。

2 時間目：俳句の作成に挑戦。

3 時間目：作文の残りを作成し、皆の前で発表しました。